

花水木・ハナミズキ

♪空を押し上げて～♪一青窈さんの名曲、「ハナミズキ」の最初のフレーズです。この歌は2001年アメリカ同時多発テロ事件を受け、ニューヨークに住む友人へ向けて平和と長寿の願いを込めて作られました。大切な人の幸せが「100年」続くことと、争いのない世界を願う鎮魂歌として一青窈さんが作詞し、魂を込めて歌っています。

3月13日、卒業式の日には東生野中学校のシンボルとして長きにわたり正門で見守ってくれていたフェニックスを倒木の恐れがあることから伐採しました。そして、その後、私が大好きなハナミズキを植えてもらいました。ハナミズキも春を代表する花ですがその主役は桜です。ハナミズキは桜の陰に隠れてあまり注目されません。二番手かもしれません。しかし、しっかりときれいな花を咲かせます。その姿を見ていると桜と比べることなく「自分は自分や」と言っているような気がします。東生野中学校のハナミズキは白色の花を咲かせています。その白色には「真っ白な素直な心で」という願いを込めています。1年生のみなさんは入学した年、2年生、3年生のみなさんは進級した年に植えられたハナミズキです。これから何十年と東生野中学校を見守ってくれます。みなさんが卒業した後も春には白い花を咲かせてくれます。

今、世界では戦争が起こり、多くの方が犠牲になっています。残念でなりません。このような状況の時こそ一青窈さんの「ハナミズキ」で歌われている心が大切です。私たちに戦争を止めることはできません。しかし、戦争が終わってほしい、平和になってみんなが楽しく暮らせるようになってほしいと祈り、願うことはできます。

校長室だより「スクラム」の意味
「スクラム」とはラグビーのプレーの一つです。フォワードの選手8人が力を合わせて同じ方向に向いて相手を押します。その時に大事なことは8人の力を一つにすることです。スクラムはラグビーの試合の中で勝敗を左右するほど大切なプレーです。教職員、保護者の皆様、地域の皆様が生野中学校の子どもたちのために力を合わせることを願い「スクラム」という名前にしています。
校長室だより「スクラム」不定期ではありますが発行してまいります。

自己紹介

名前:角田眞章、東生野中学校で2年目になります。昔は中学校で保健体育を教えラグビー部の顧問をしていました。

家族:妻、カルビ(ミニチアダックス)16歳、マツコ(シーズーとチワワの MIX)8歳の2人と 2匹の家族です。小さい方のマツコは家のパンドロボー、さつまいもドロボーの真犯人で悪さばかりします。

趣味:犬の散歩、ラグビー観戦(花園近鉄ライナーズのファンです)、読書、落語鑑賞(よく天満天神繁昌亭で落語を鑑賞しています。)

尊敬する人:アンパンマン。

アンパンマンを尊敬する理由:困っている人を助けます。悪さやいたずらをするバイキンマンをこらしめます。しかし、バイキンマンを徹底的にはやっつけません。そして、しんどくなったら無理をしないで休んでジャムおじさんに助けてもらいます。アンパンチは出すことはできないけどアンパンマンみたいに正義の味方のような人になりたいなと思っています。

東生野中学校の子ども達のために、保護者の皆様、地域の皆様とガッチリ、スクラムを組んで。体力の続く限りがんばります。今年度もよろしくお願ひします。

がんばりました

卓球部 2 ブロック大会 3位

体操部

咲花トロフィー杯 男子団体総合 2位
女子団体総合 2位

男子バスケットボール部

羽曳野カップ 優勝

第4ブロック1年生大会 準優勝

おめでとう

校長 ・ 田眞章